

平成二十九年 度

入 学 式 式 辞

春の躍動を感じる今日の佳き日に、平成二十
九年度入学式を執り行うにあたり、

大阪市会議員 広田 和美 様 地域振興

連合町会長様、校区の各校園長先生、および小
学校の元担任の先生方を初め、多くのご来賓の

皆様には、ご多用にもかかわらずご臨席を賜り、
新入生の前途をお祝いいただきました。高いところ
からではございますが、厚く御礼申し上げます。

八十六名の新入生の皆さん、ご入学おめでとう。今日から、この野田中学校の仲間です。

在校生および教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。新しい制服に身を包んでこの式場に入場してきた皆さんの顔は、たくまし

く輝いて見え、これから始まる中学校生活への期待と「これから三年間がんばるぞ」という思いが伝わってきて、とても嬉しくなりました。

新入生の皆さんは、多くの人が校区内の吉野小学校、大開小学校を二週間前に卒業しました。

卒業式の際に校長先生よりいただいたお話を覚えていますか？

吉野小学校の中島校長先生からは、詩人の金子みすずさんの作品を紹介され、「一人ひとりの思いや考え方は違っていて当然であり、

一つの物差しだけで人の価値をはかるべきではない。相手の立場にたつて、相手の思いに寄り添うことが大切」と話をされました。

大開小学校の臼井校長先生は、パナソニック創業者の松下幸之助氏、そして大リーガーのイチ

ローさんの言葉を紹介され、「夢を叶え、実現するために不可欠なものが『志』であり、苦しみがあつても決してあきらめず、小さなことを積み重ねてほしい」と話をされました。

その小学校卒業式では、皆さんが大きな声で

堂々と将来の夢を語っている姿には感銘を受けました。ただ、夢の中身は、これから成長し、そして現実の世界に触れていくにつれ、変わっていくでしょう。しかし、夢を実現するためにしなければいけないこと、すなわち、自分自身を信じて

一歩ずつ前に向って歩み続けることの大切さは、いつになっても変わらないと思います。

ところで、皆さんは、「学校」という言葉を調べたことがあるでしょうか。辞書では、「教師が教育を行うところ」と解説されていますが、私は、

文字通り「学ぶところ」と解釈しています。では、「学ぶ」という動詞の主語はだれでしょうか。当然、皆さんを含む生徒たちです。言い換えれば、「学校」は生徒が主役になれる場所であり、そのような学校にしていきたいと考えています。

それを実現するうえで、皆さんに最も期待したいことを一つ挙げるとすれば、「主体性」です。先生方からの教えを待つという受け身の姿勢ではなく、自ら学び、しっかりと考え、そして行動に移していこうとする姿勢です。

ここで、著名な詩人・書道家である相田みつおさんの有名な言葉を紹介します。「夢はでつかく、根は深く」という言葉です。「夢」を「花」に置き換えて考えてください。花は枝に支えられ、枝は幹に支えられ、幹は根に支えられています。夢

を実現する、すなわち立派な花を咲かせ、それを支えるために、根は少しでも多くの養分を吸収しようと土の中深くまで広がって、太い大きな根っこを張っていきます。皆さんも、これからの三年間、授業だけでなく学校行事や部活動など

様々な場面の中で自ら考え行動することにより多くのことを学び、そして夢の実現に向けてつらいことや悲しいことがあっても倒れない、しっかりととした根っこを創っていつてほしいと考えます。

しかしながら、大人への階段を登り始めるこの三年間は、楽しいこと、うれしいことばかりではありません。勉強のこと、友だちのこと、進路のこと等、悩んだり苦しんだりすることもあるでしょう。そんな時こそ顔をあげて周囲を見回して

ください。家族、先生そして友だちがいます。一人で苦しんだり悩んだりしないでください。堂々と声をあげ、手を挙げて助けを求めてください。どんなに長い、暗いトンネルでも必ず出口はあることを忘れないでほしいと思います。

遅くなりましたが、保護者の皆様、お子さまのご入学、誠におめでとうございます。真新しい学生服を身につけられたお子さまの姿を目にされて、小学校を卒業したばかりですが、一回り大きくなったように感じておられるのでは

ないでしょうか。

本校では、校訓である「自主・協調・友愛」の精神のもと、「仲間とともに学び合う」ことを教育目標として掲げています。自らすすんでチャレンジし、仲間を認め、協力し合える生徒を一人で

も多く育てるべく、わたしども野田中学校の教職員一同、決意を新たにしているところであります。ご家庭におかれましても、お子さまの成長をしつかりと見守っていただき、学校との密な連携のもと、生徒が生き生きとした学校生活を送れますよう、ご協力の程を宜しくお願いいたします。

最後に、改めて新入生の皆さん、ご入学おめでとう。野田中学校の一員として心優しき先輩たちとともに力を合わせて学校の良き伝統を引き

継ぎ、そして皆さんが互いを認め合い、切磋琢磨して充実した中学校生活を送る姿をととても楽しみにしています。そのことをお伝えして、本日の式辞といたします。

平成二十九年四月五日

大阪市立野田中学校 校長 森川和彦